

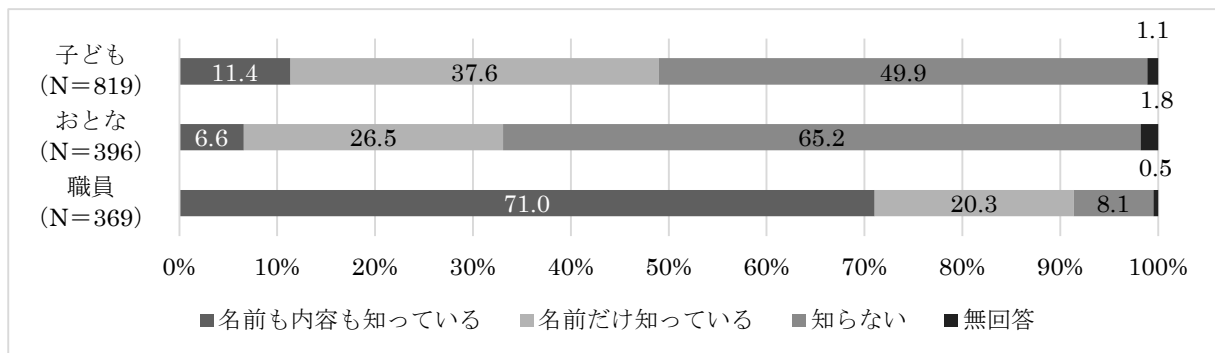
II アンケート調査の結果

1 子どもの権利条例について

(1) 条例の認知度

子どもの権利条例を「名前も内容も知っている」と回答した割合は、子どもが 11.4%、おとなが 6.6%、職員が 71.0%、「名前だけ知っている」と回答した割合は、子どもが 37.6%、おとなが 26.5%、職員が 20.3%でした。子どもは 49.9%、おとなは 65.2%、職員は 8.1%が「知らない」と回答しています。

図1 Q1 川崎市子どもの権利に関する条例を知っていますか。【全体】 (%)

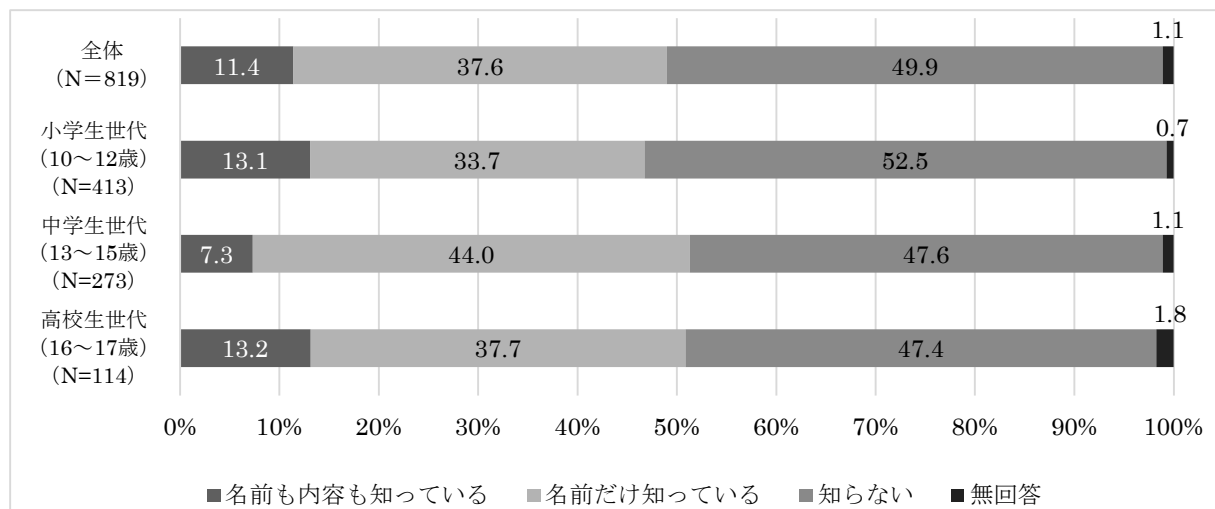


ア 子どもの認知度

【子ども：世代別】

世代別に見ると、「名前も内容も知っている」と回答した割合は小学生世代で 13.1%、中学生世代で 7.3%、高校生世代で 13.2%でした。「名前だけ知っている」では、小学生世代が 33.7%、中学生世代が 44.0%、高校生世代が 37.7%で、「名前も内容も知っている」、「名前だけ知っている」を合わせると、中学生世代が最も高くなっています。

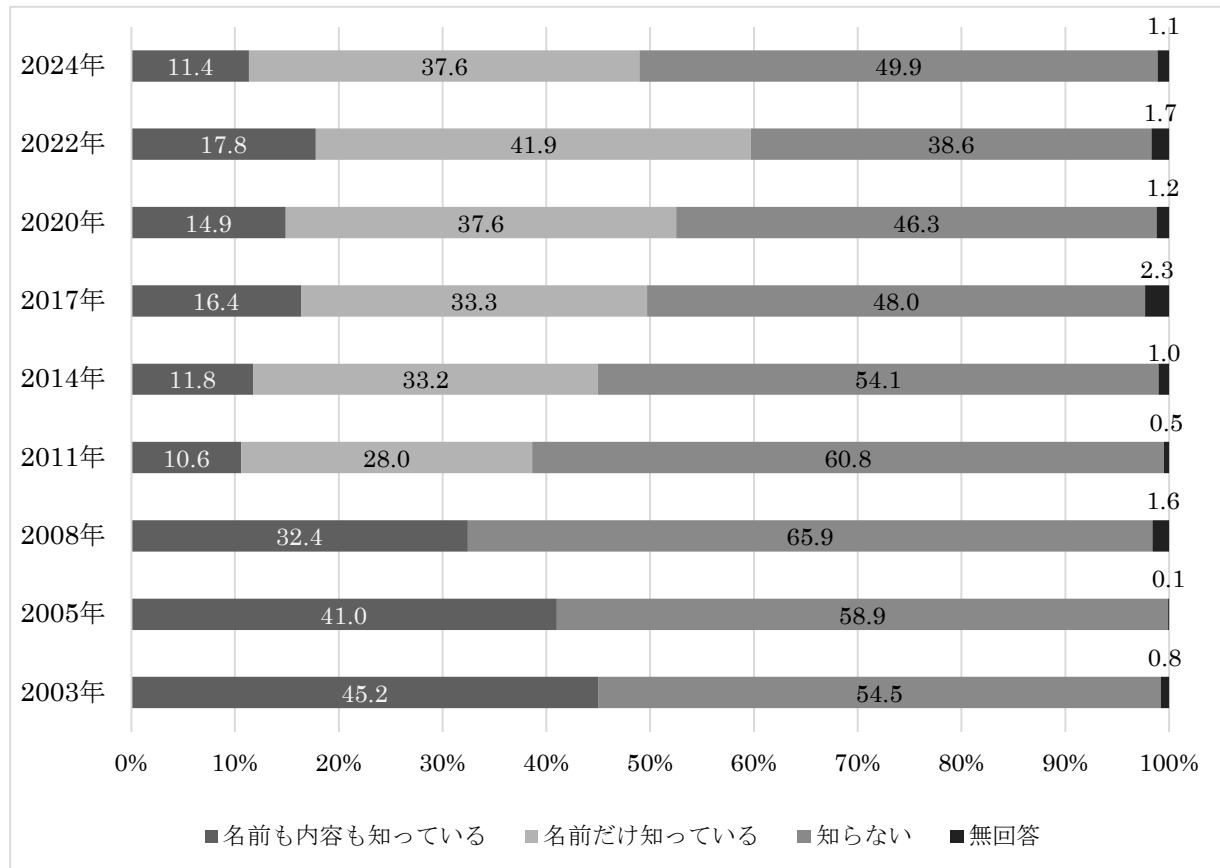
図2 Q1 川崎市子どもの権利に関する条例を知っていますか。【子ども：世代別】 (%)



【子ども：経年比較】

前回の調査で、条例を「知っている」と回答した子どもは17.8%、「聞いたことがあるが内容はよくわからない」と回答した子どもは41.9%でしたが、今回の調査では「名前も内容も知っている」と回答した子どもは11.4%、「名前だけ知っている」と回答した子どもは37.6%と減少しました。

図3 Q1 川崎市子どもの権利に関する条例を知っていますか。【子ども：経年比較】 (%)



(注) 2003～2008年の調査では「知っている」「知らない」の2択
2011年～2022年の調査では「知っている」「聞いたことはあるが内容はよくわからない」「知らない」の3択

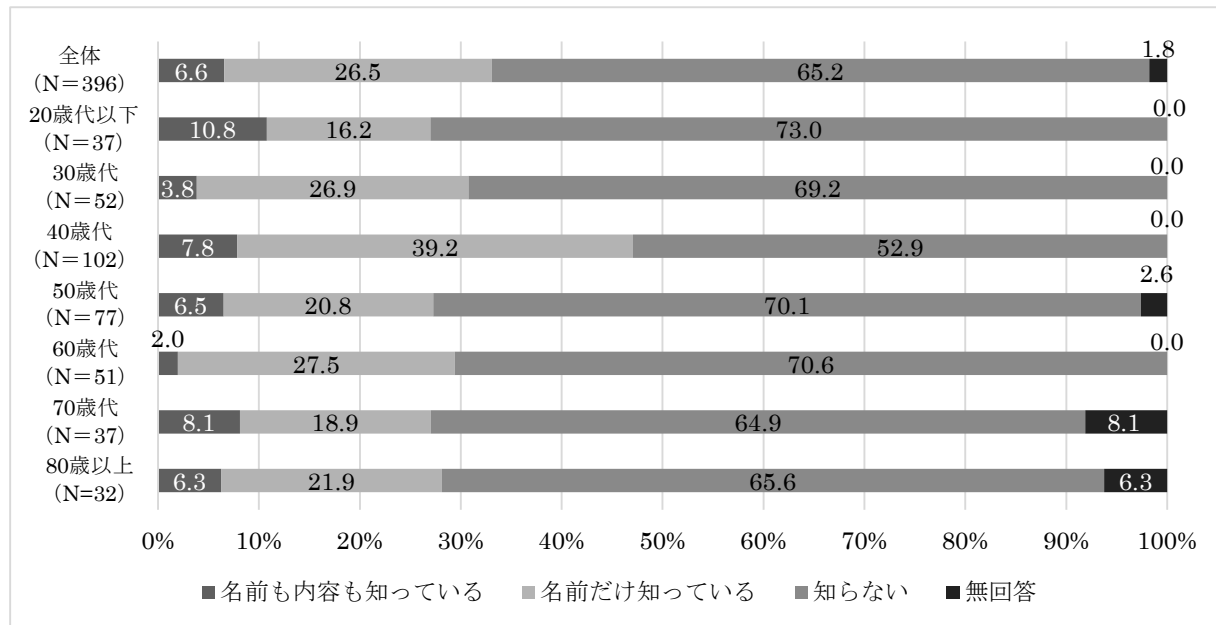
イ おとなの認知度

【おとな：年代別】

年代別に見ると、「名前も内容も知っている」、「名前だけ知っている」と回答した割合が最も多い年代は、40歳代の47.0%で、次いで30歳代の30.7%、60歳代の29.5%でした。

(図はP.8図4を参照)

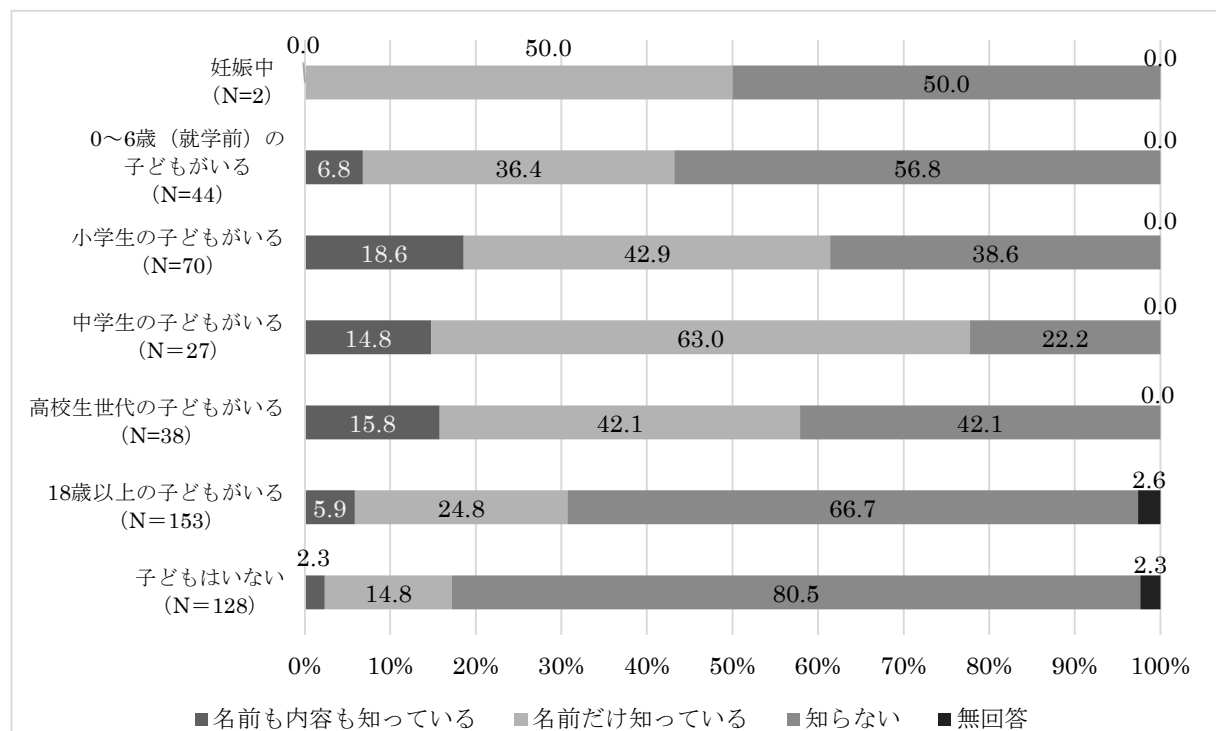
図4 Q1 川崎市子どもの権利に関する条例を知っていますか。【おとな：年代別】 (%)



【おとな：子どもの有無別】

子どもの有無別で見ると、条例を「名前も内容も知っている」、「名前だけ知っている」と回答した割合が最も高かったのは「中学生の子どもがいる」おとなで77.8%、次いで「小学生の子どもがいる」おとなの61.5%、「高校生世代の子どもがいる」おとなの57.9%でした。これに対し、子どもは「いない」おとなは17.1%と低くなっています。

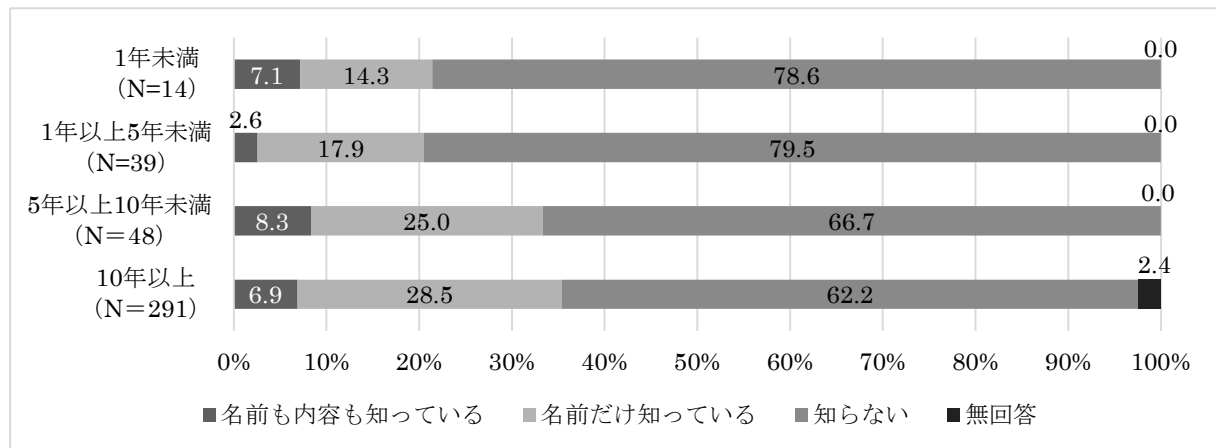
図5 Q1 川崎市子どもの権利に関する条例を知っていますか。【おとな：子どもの有無別】 (%)



【おとな：居住期間別】

居住期間別で見ると、条例を「名前も内容も知っている」、「名前だけ知っている」と回答した割合が最も高かったのは「10年以上」のおとなで35.4%、次いで「5年以上10年未満」のおとなで33.3%でした。

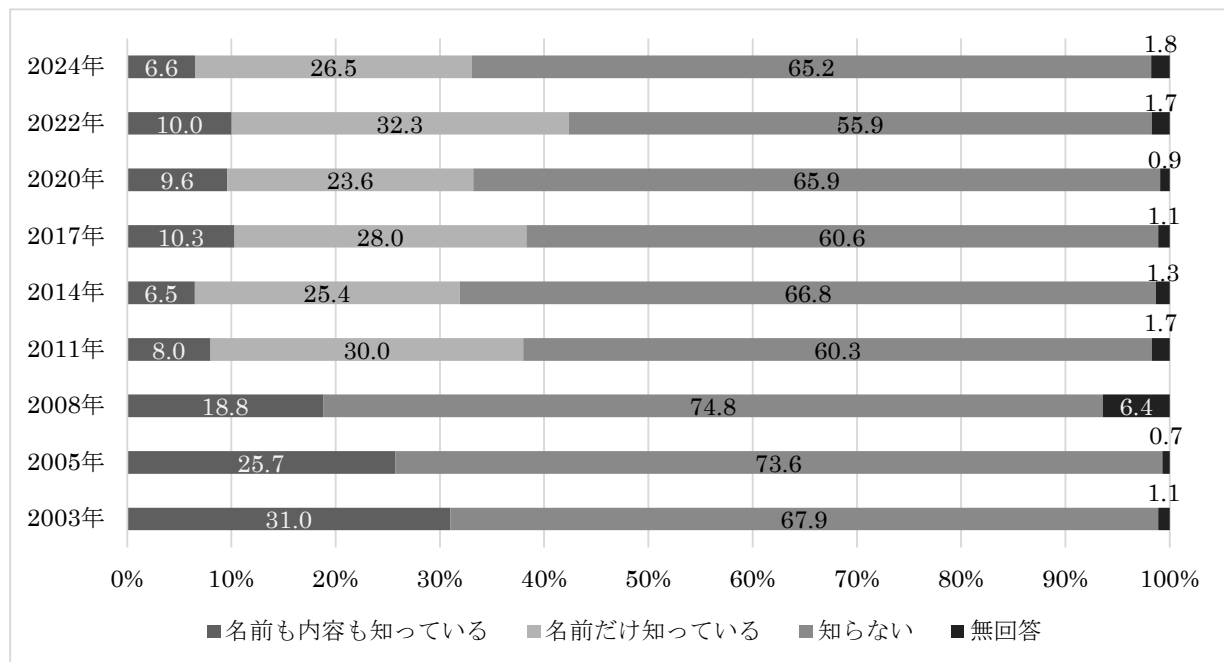
図6 Q1 川崎市子どもの権利に関する条例を知っていますか。【おとな：居住期間別】 (%)



【おとな：経年比較】

前回の調査で、条例を「知っている」と答えた人は10.0%、「聞いたことはあるが内容はよくわからない」と答えた人は32.3%でしたが、今回の調査では「名前も内容も知っている」と答えた人は6.6%に、「名前だけ知っている」と答えた人は26.5%と、いずれも減少しました。

図7 Q1 川崎市子どもの権利に関する条例を知っていますか。【おとな：経年比較】 (%)



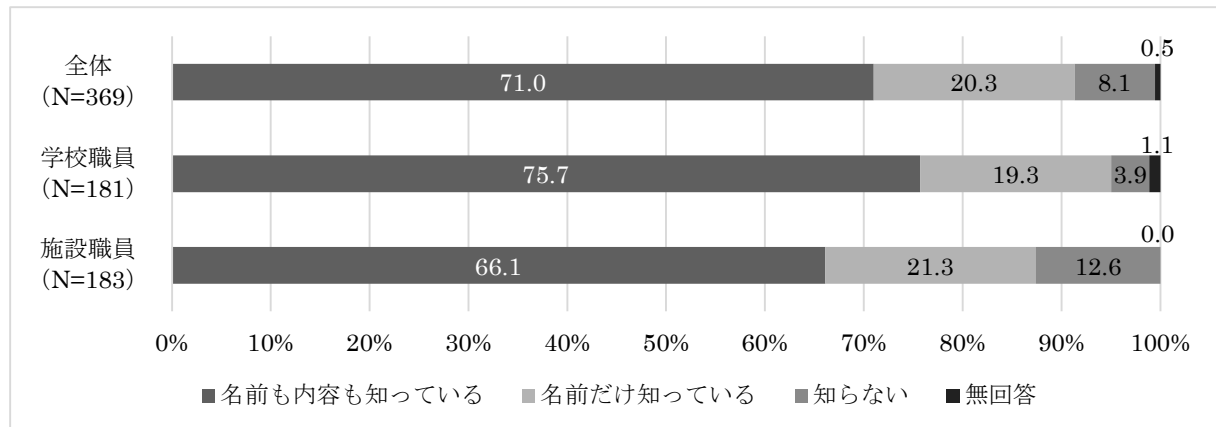
(注) 2003～2008年の調査では「知っている」「知らない」の2択
2011年～2022年の調査では「知っている」「聞いたことはあるが内容はよくわからない」「知らない」の3択

ウ 職員の認知度

【職員：施設別】

施設別で見ると、学校職員の 75.7%、施設職員の 66.1%が条例を「名前も内容も知っている」と回答しました。

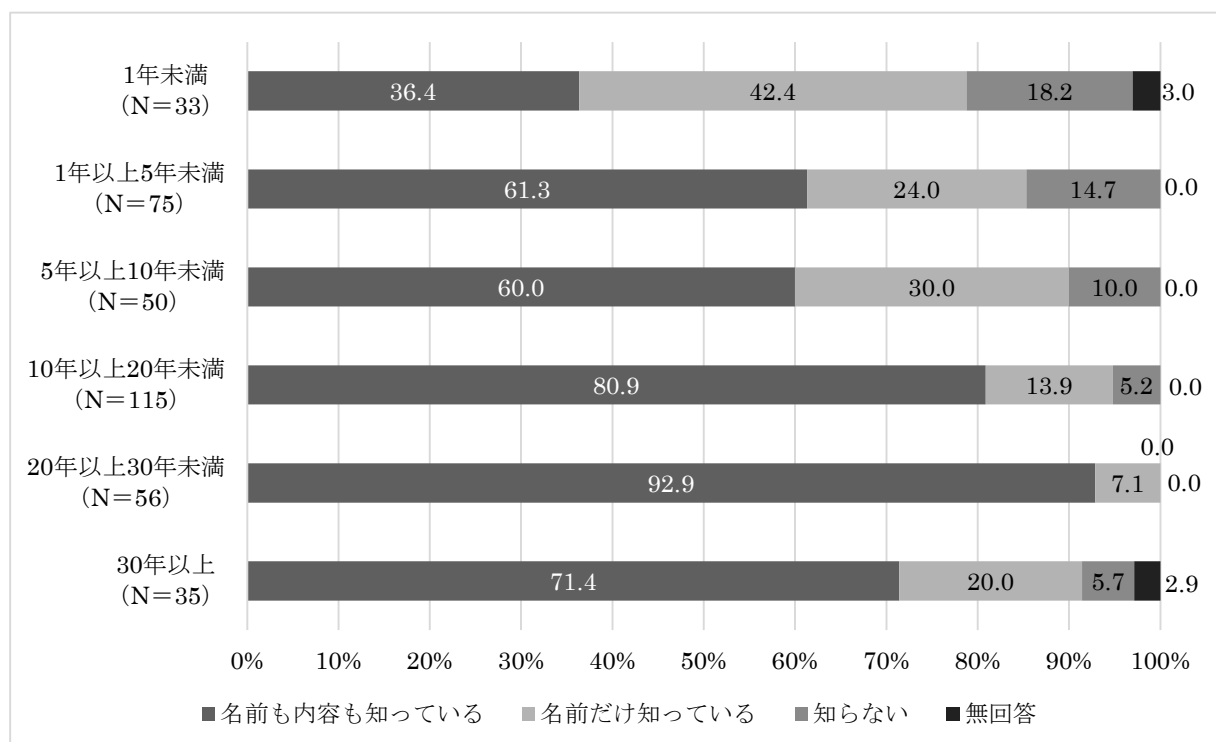
図8 Q1 川崎市子どもの権利に関する条例を知っていますか。【職員：施設別】 (%)



【職員：勤続年数別】

勤続年数別で見ると、おおよそ勤続年数が高い職員ほど「名前も内容も知っている」「名前だけ知っている」と回答した割合が増加する傾向にあり、20年以上30年未満の勤続年数の職員の92.9%が「名前も内容も知っている」と回答しました。

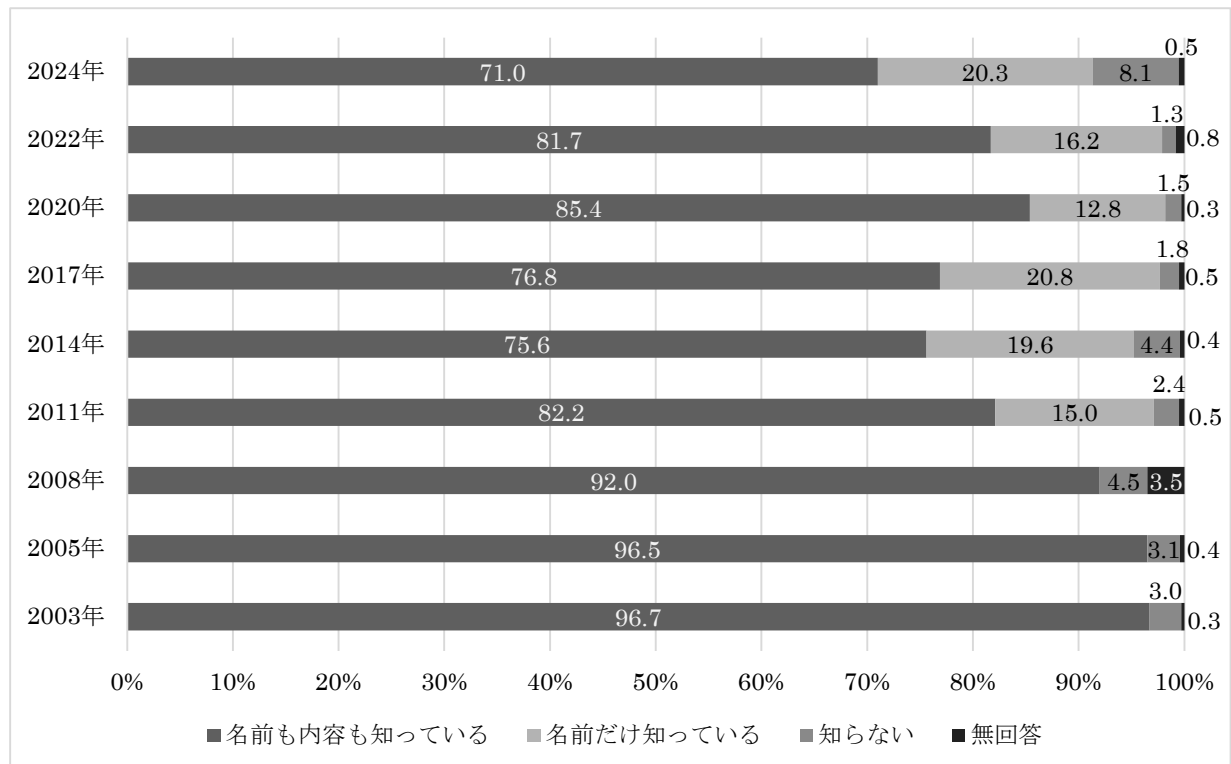
図9 Q1 川崎市子どもの権利に関する条例を知っていますか。【職員：勤続年数別】 (%)



【職員：経年比較】

前回の調査では、条例を「知っている」「聞いたことはあるが内容はよくわからない」と答えた職員は97.9%でしたが、今回の調査では「名前も内容も知っている」「名前だけ知っている」と答えた職員が91.3%へと減少しています。また、「知らない」と回答した職員の割合は過去最高でした。

図10 Q1 川崎市子どもの権利に関する条例を知っていますか。【職員：経年比較】 (%)



((注) 2003～2008年の調査では「知っている」「知らない」の2択
2011年～2022年の調査では「知っている」「聞いたことはあるが内容はよくわからない」「知らない」の3択

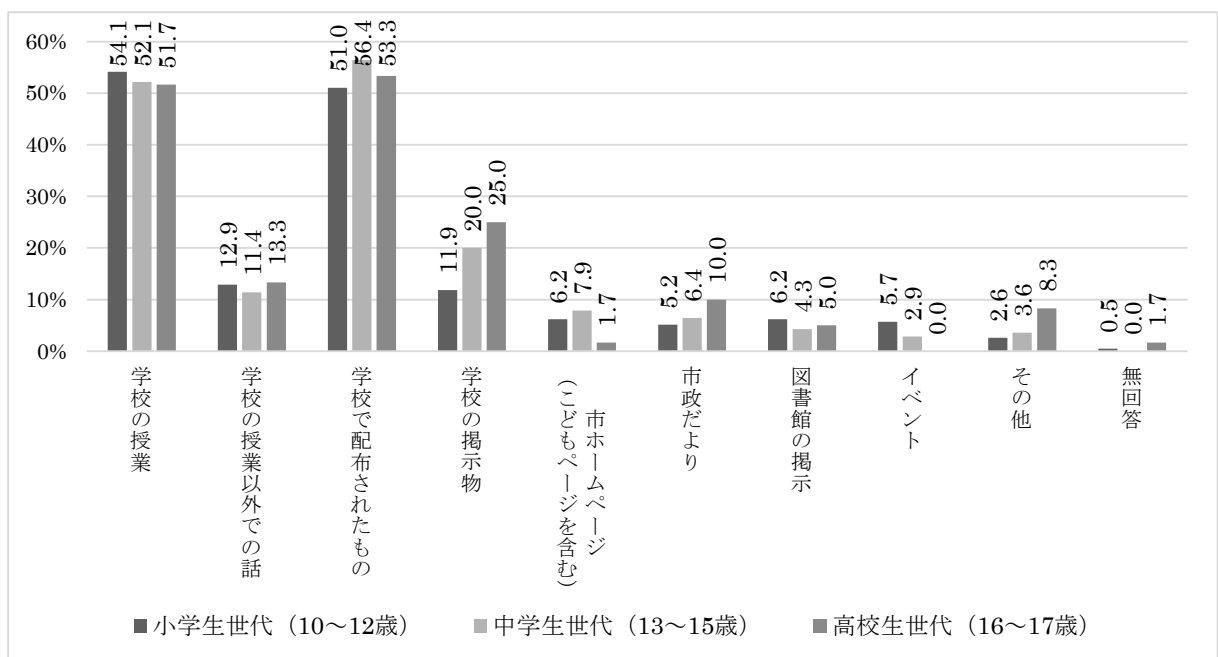
(2) 条例の認知方法（条例を「名前も内容も知っている」「名前だけ知っている」と回答した人）

ア 子ども

【子ども：世代別】

世代別に見ると、小学生・中学生・高校生世代ともに、「学校の授業」「学校で配布されたもの」と回答した割合が高くなっています。

図 11 Q 2 川崎市子どもの権利に関する条例をどのように見たり聞いたりしますか。
（複数回答可）【子ども：世代別】



「その他」の回答については、P. 44 参照

イ おとな

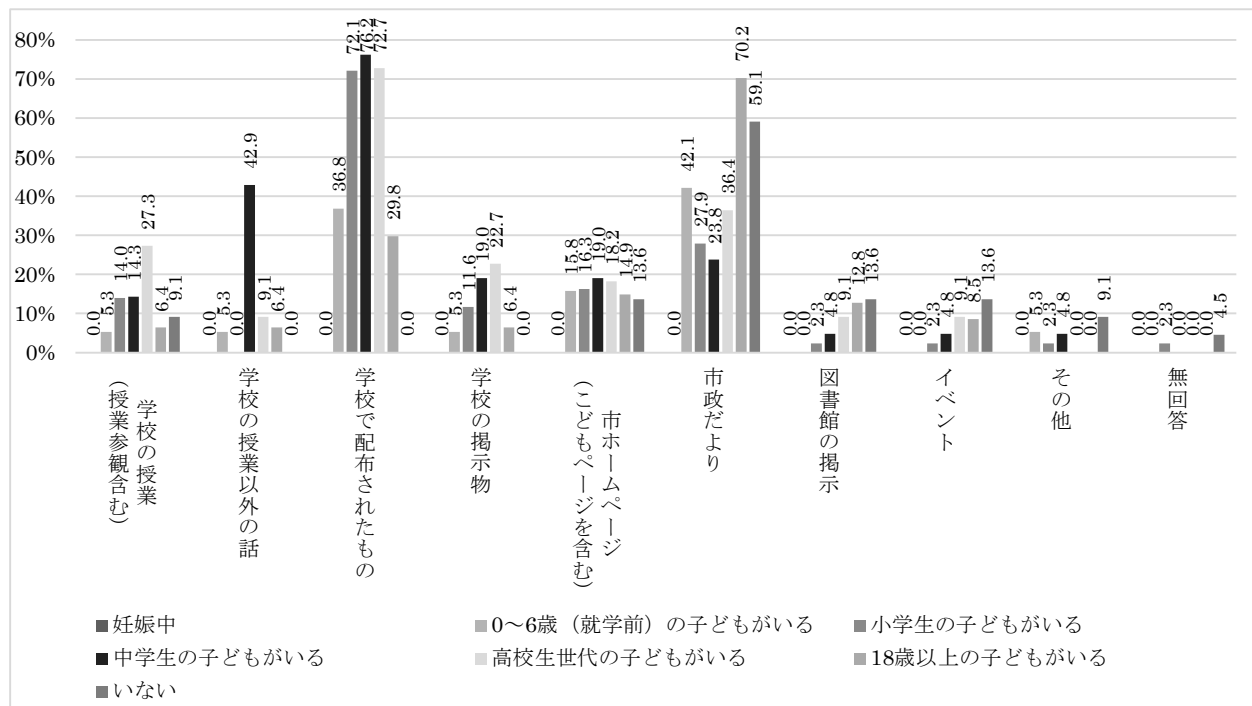
【おとな：子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、小・中・高校生世代の子どもがいるおとなは、「学校で配布されたもの」と回答した割合が最も高くなりました。就学前・18歳以上の子どものいるおとなと、子どもはいないおとなは、「市政だより」と回答した割合が高くなりました。

(図は P. 13 図 12 を参照)

図 12 Q 2 川崎市子どもの権利に関する条例をふだんどのような方法で見たり聞いたりしますか。
(複数回答可)【おとな：子どもの有無別】

(%)



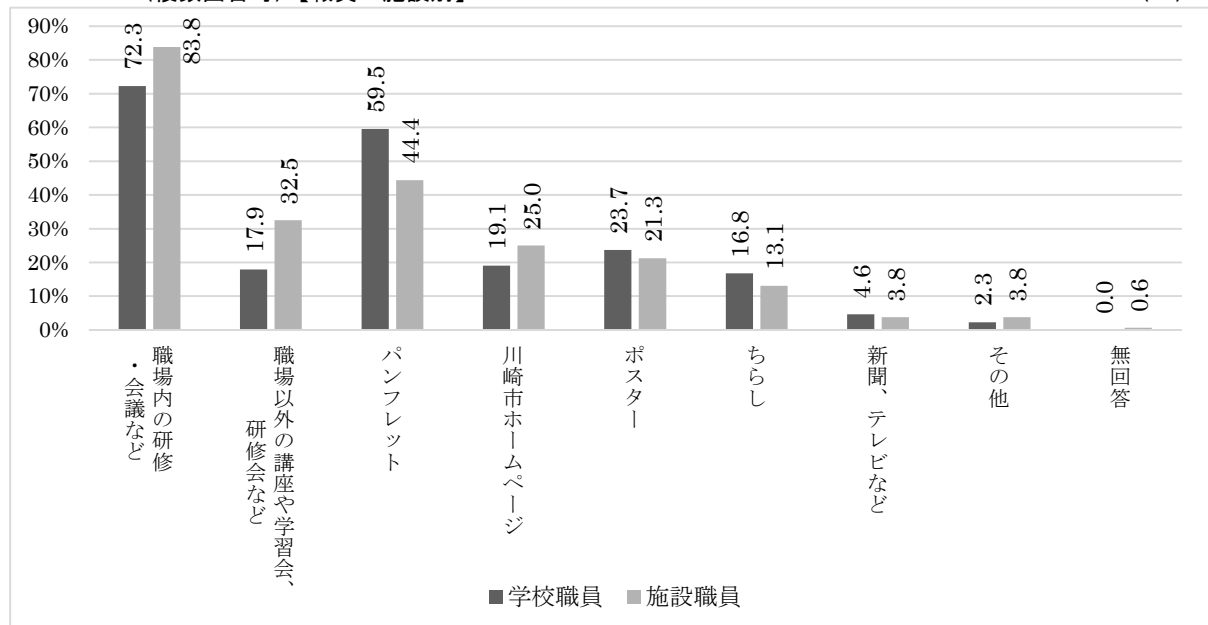
ウ 職員

【職員：施設別】

施設別に見ると、学校職員・施設職員ともに「職場内の研修・会議など」と回答した割合が最も高くなりました。

図 13 Q 2 川崎市子どもの権利に関する条例をふだんどのような方法で見たり聞いたりしますか。
(複数回答可)【職員：施設別】

(%)

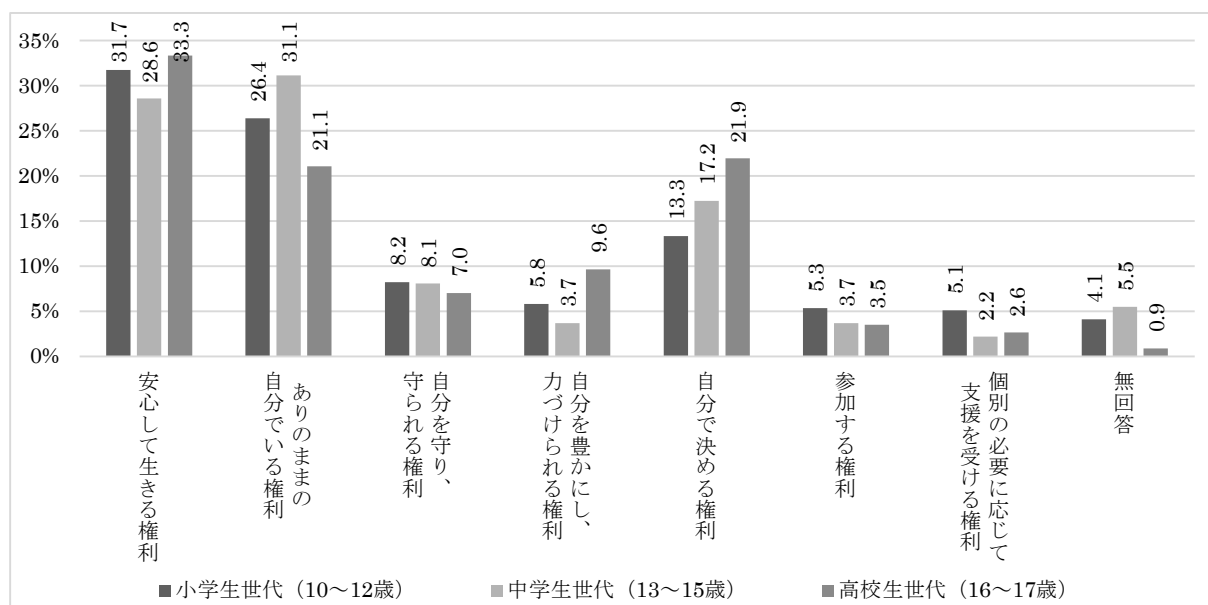


(3) 子どもの権利の中で、最も大切だと思うもの

【子ども：世代別】

子どもに対し、7つの子どもの権利の中で、自分にとって大切だと思う権利を1つ選んでもらったところ、最も割合が高い回答は、小学生世代と高校生世代は「安心して生きる権利」で、中学生世代は「ありのままの自分でいる権利」でした。

図 14 Q3 7つの子どもの権利のうち、自分にとって大切だと思う権利を1つ選んでください。
また、その理由を教えてください。(全体)【子ども：世代別】 (%)



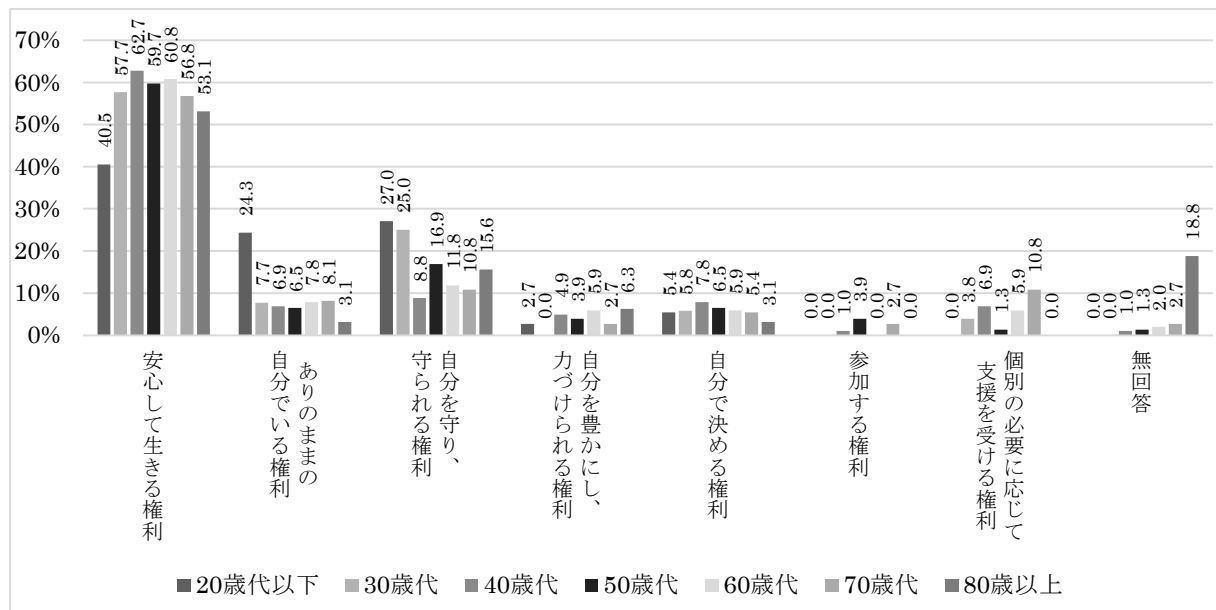
選んだ理由についてはP. 44～参照

【おとな：年代別】

おとなに対し、7つの子どもの権利の中で、子どもにとって大切だと思う権利を1つ選んでもらったところ、全ての年代において最も回答の割合が高かったのは「安心して生きる権利」でした。2番目に多く選ばれた権利については、70代は「個別の必要に応じて支援を受ける権利」と「自分を守り、守られる権利」で、70代を除く年代では「自分を守り、守られる権利」でした。
(図はP. 15 図 15 を参照)

図 15 Q3 7つの子どもの権利のうち、子どもにとって大切だと思う権利を1つ選んでください。
また、その理由を教えてください。(全体)【おとな：年代別】

(%)



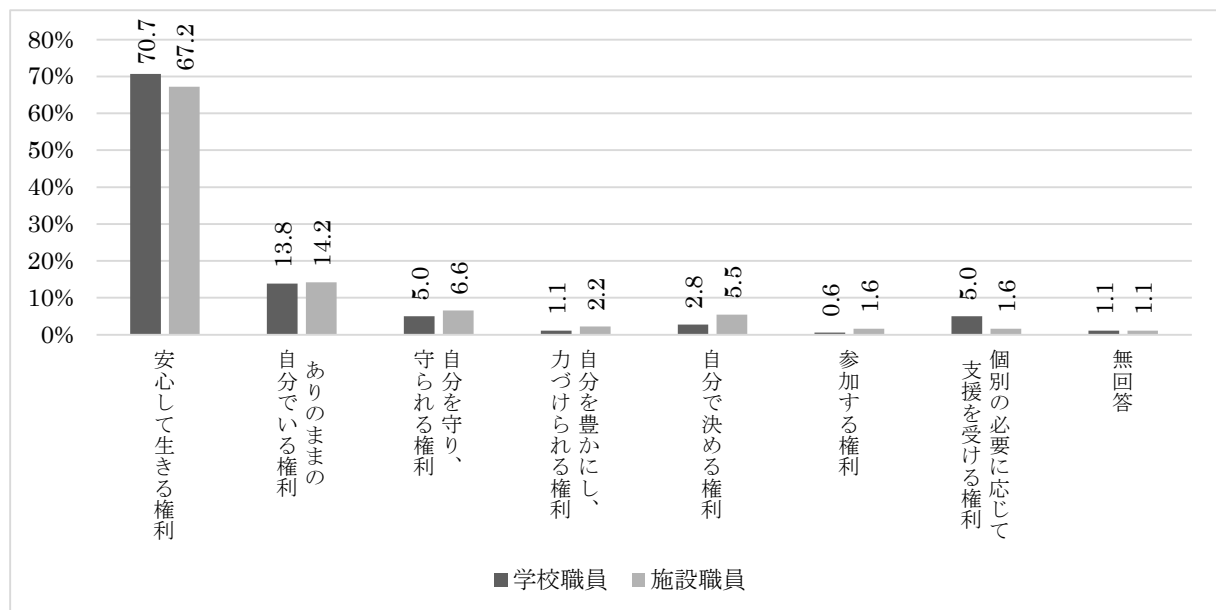
選んだ理由についてはP. 87～参照

【職員：施設別】

職員に対し、7つの子どもの権利の中で、子どもにとって大切だと思う権利を1つ選んでもらったところ、学校職員・施設職員どちらにおいても最も回答の割合が高かったのは「安心して生きる権利」でした。2番目に多く選ばれた権利については、学校職員・施設職員ともに「ありのまの自分の権利」でした。

図 16 Q3 7つの子どもの権利のうち、子どもにとって大切だと思う権利を1つ選んでください。
また、その理由を教えてください。(全体)【職員：施設別】

(%)



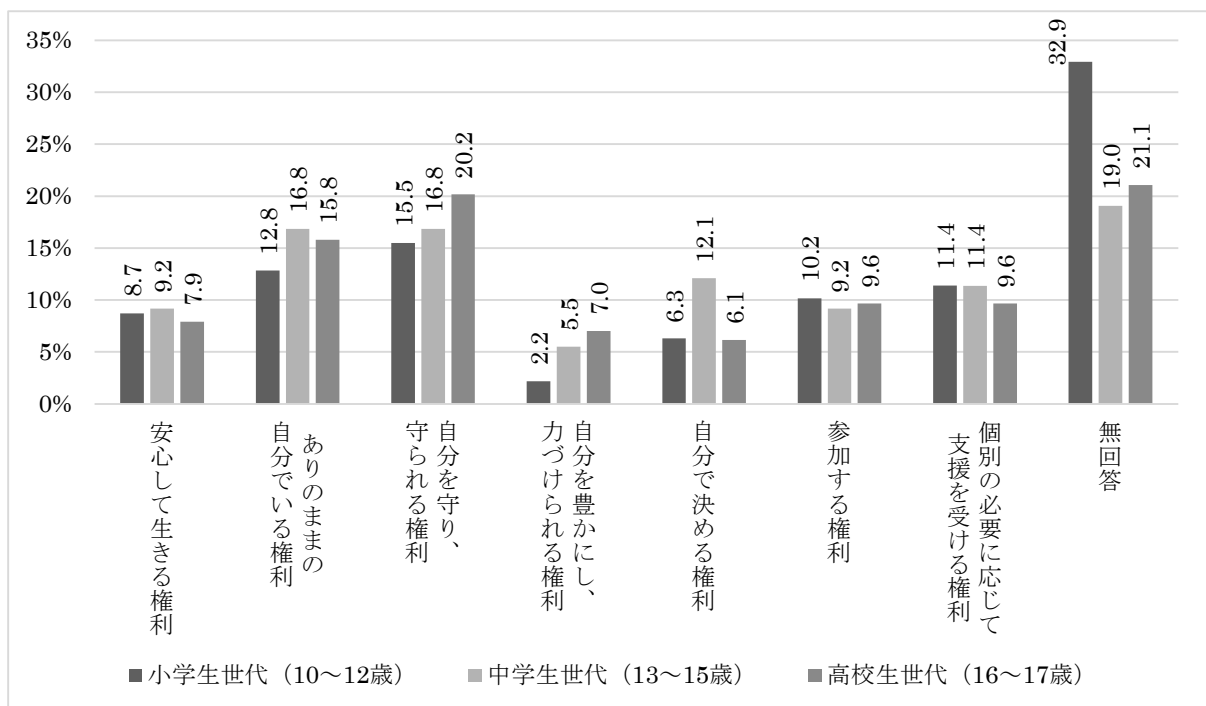
選んだ理由についてはP. 114～参照

(5) 子どもの権利の中で、守られていないと思うもの

【子ども：世代別】

子どもに対し、7つの子どもの権利のうち、守られていないと思う権利を1つ選んでもらったところ、すべての年代において最も回答の割合が高かったのは「自分を守り、守られる権利」でした。中学生世代においては「ありのままの自分でいる権利」も同じ割合でした。

図 17 Q 4 7つの子どもの権利のうち、守られていないと思う権利を1つ選んでください。
また、その理由を教えてください。(全体)【子ども：世代別】

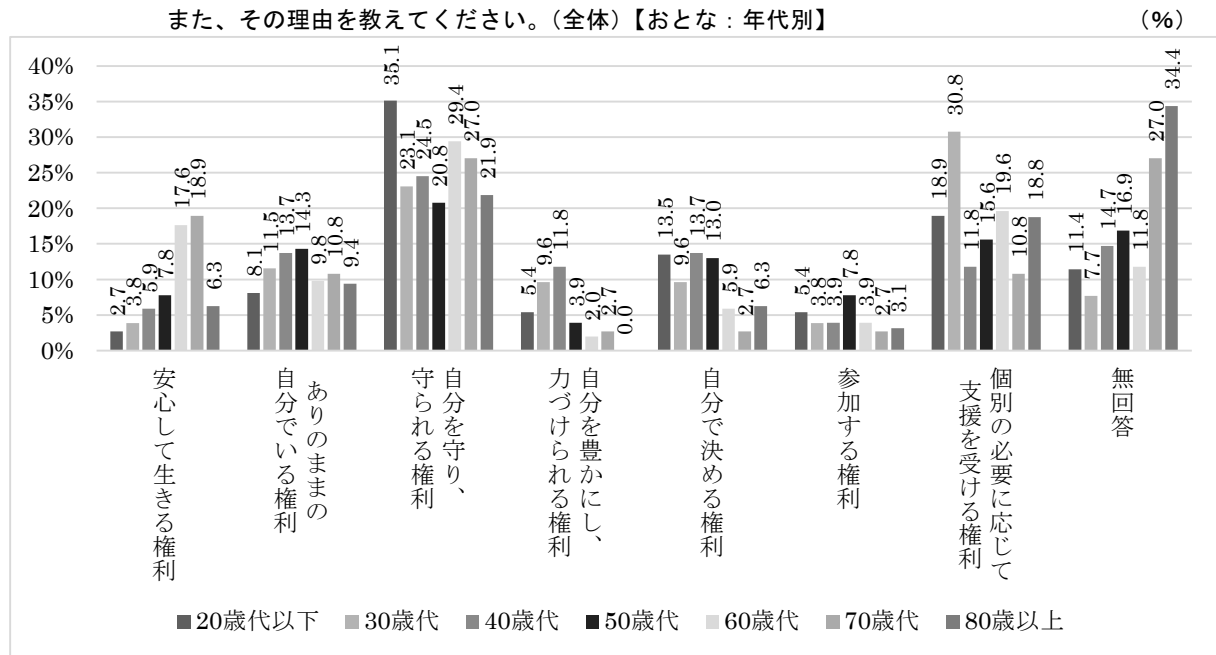


選んだ理由については P. 53～参照

【おとな：年代別】

おとなに対し、7つの子どもの権利のうち、守られていないと思う権利を1つ選んでもらったところ、30歳代以外の世代において最も回答の割合が高かったのは「自分を守り、守られる権利」でしたが、30歳代は「個別の必要に応じて支援を受ける権利」でした。(図は P. 17 図 18 参照)

図 18 Q 4 7つの子どもの権利のうち、守られていないと思う権利を1つ選んでください。
また、その理由を教えてください。(全体)【おとな：年代別】

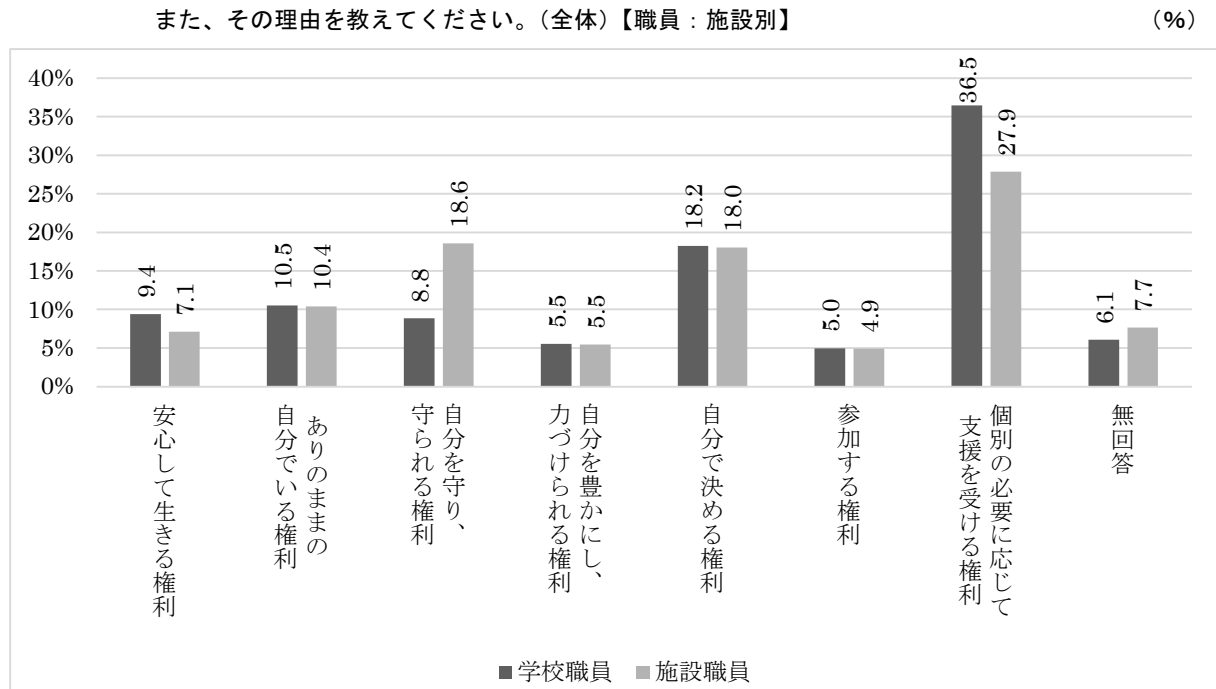


選んだ理由についてはP. 91～参照

【職員：施設別】

職員に対し、7つの子どもの権利のうち、守られていないと思う権利を1つ選んでもらったところ、最も回答の割合が高かった権利は、学校職員・施設職員ともに「個別の必要に応じて支援を受ける権利」でした。

図 19 Q 4 7つの子どもの権利のうち、守られていないと思う権利を1つ選んでください。
また、その理由を教えてください。(全体)【職員：施設別】



選んだ理由についてはP. 118～参照